

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
(1) 学生の確保の見通し	2
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	5
2. 人材需要の動向等社会の要請	6
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	6
(2) 上記2. (1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	7

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

先端学術院の入学定員は、前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程（以下「5年一貫制課程」という。）が58名、後期3年の課程のみの博士課程（以下「後期3年制課程」という。）が62名、計120名であり、現行の文化科学研究科（後期3年制課程）、物理科学研究科（5年一貫制課程）、高エネルギー加速器科学研究科（5年一貫制課程）、複合科学研究科（5年一貫制課程）、生命科学研究科（5年一貫制課程）、先導科学研究科（5年一貫制課程）の6研究科で計100名から20名の増員を計画している。

この入学定員については、定員の充足を十分に見込める状況にあるということ、主に現行の6研究科における定員充足の状況をもとに、先端学術院への進学希望に関するアンケート結果も含めて説明する。

① 定員充足の見込み

（資料1「既設研究科の入学定員充足状況（平成29年度～令和3年度平均）を参照）。

先端学術院の定員充足の見通しについては、次のような理由から入学定員120名を確保することは十分可能である。

現行の総合研究大学院大学の全6研究科の平成29年度から令和3年度までの5年間の実績において、入学定員100名に対して120.8名と20.8%の定員超過となっている。

また、入学志願者の平均も、平成29年度から令和3年度までの5年間の実績において、260.8名と入学定員の2.6倍となっており、定員を20.8%超える学生を受け入れてもなお、入学者の2.2倍となっている。

これらの実績を踏まえ、本学で学びたいという学生のニーズは十分にあると考えられ、定員の充足は十分可能と考えている。

なお、専攻としては広く「先端学術」として設定しているが、入学する学生の能力を見るうえで一定の専門性を確認する必要があることから、募集はコースごととしている。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員充足の状況について、現行の6研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における状況について、以下順に説明する。

現行の文化科学研究科は、地域文化学専攻、比較文化学専攻、国際日本研究専攻、日本歴史研究専攻、日本文学研究専攻の5つの専攻からなる後期3年制課程を置く研究科であり、入学定員は15名である。

同研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における入学志願者の平均

は、28.6名（5カ年の合計143名）、入学者数の平均は11.8名（5カ年の合計59名）である。志願倍率の平均は1.9倍、入学定員充足率の平均は79%となっている。

現行の物理科学研究科は、構造分子科学専攻、機能分子科学専攻、天文科学専攻、核融合科学専攻、宇宙科学専攻の5つの専攻からなる5年一貫制課程を置く研究科であり、入学定員は10名、3年次編入定員は15名である。

同研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における入学志願者の平均は53.8名（5カ年の合計269名）、3年次編入志願者の平均は18.6名（5カ年の合計93名）である。入学者数の平均は16.8名（5カ年の合計84名）、3年次編入学者の平均は11.6名（入学者数の5カ年の合計58名）である。志願倍率の平均は5.4倍、3年次編入学志願倍率は1.2倍であり、入学定員充足率の平均は168%、3年次編入定員充足率の平均は77%となっている。

現行の高エネルギー加速器科学研究科は、加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻の3つの専攻からなる5年一貫制課程を置く研究科であり、入学定員は9名、3年次編入定員は若干名としている。

同研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における入学志願者の平均は30.6名（5カ年の合計153名）、3年次編入志願者の平均は9.6名（5カ年の合計48名）である。入学者数の平均は10.6名（5カ年の合計53名）、3年次編入学者の平均は5.2名（入学者数の5カ年の合計26名）である。志願倍率の平均は3.4倍、入学定員充足率の平均は118%となっている。なお、3年次編入については定員を若干名としているが、仮に各専攻1名とした場合の志願倍率の平均は3.2倍、定員充足率の平均は173%となる。

現行の複合科学研究科は、統計科学専攻、極域科学専攻、情報学専攻の3つの専攻からなる5年一貫制課程を置く研究科であり、入学定員は8名、3年次編入定員は10名である。

同研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における入学志願者の平均は31.0名（5カ年の合計155名）、3年次編入志願者の平均は29.2名（5カ年の合計146名）である。入学者数の平均は14.6名（5カ年の合計73名）、3年次編入学者の平均は21.4名（入学者数の5カ年の合計107名）である。志願倍率の平均は3.9倍、3年次編入学志願倍率は2.9倍であり、入学定員充足率の平均は183%、3年次編入定員充足率の平均は214%となっている。

現行の生命科学研究科は、遺伝学専攻、基礎生物学専攻、生理科学専攻の3つの専攻からなる5年一貫制課程を置く研究科であり、入学定員は9名、3年次編入定員は18名である。

同研究科の平成29年度から令和3年度までの5カ年における入学志願者の平均は38.8名（5カ年の合計194名）、3年次編入志願者の平均は14.4名（5カ年の

合計 72 名) である。入学者数の平均は 15.2 名 (5 カ年の合計 76 名)、3 年時編入
入学者の平均は 10.4 名 (入学者数の 5 カ年の合計 52 名) である。志願倍率の平均
は 4.3 倍、3 年次編入学志願倍率は 0.8 倍であり、入学定員充足率の平均は 169%、
3 年次編入定員充足率の平均は 58%となっている。

現行の先導科学研究科は、生命共生体進化学専攻からなる 5 年一貫制課程を置
く研究科であり、入学定員は 5 名、3 年次編入定員は 1 名である。

同研究科の平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 カ年における入学志願者の平均
は 4.4 名 (5 カ年の合計 22 名)、3 年次編入志願者の平均は 1.8 名 (5 カ年の合計
9 名) である。入学者数の平均は 1.8 名 (5 カ年の合計 9 名)、3 年次編入学者の平
均は 1.4 名 (入学者数の 5 カ年の合計 7 名) である。志願倍率の平均は 0.9 倍、
3 年次編入学志願倍率は 1.8 倍であり、入学定員充足率の平均は 36%、3 年次編入
定員充足率の平均は 140%となっている。

以上をまとめると、現行の総合研究大学院大学全 6 研究科の平成 29 年度から令
和 3 年度までの 5 カ年における入学者数 (3 年時編入を含む。) の平均は 120.8 名
であり、入学定員 100 名に対して、21%の定員超過となっている。

研究科によっては過不足が生じている点については、今回の改組により、先端学
術院先端学術専攻の入学定員は過去 5 年の状況を踏まえて 120 名とするものの、
募集に当たっては、過去の状況及び教育体制を踏まえながら、学生の専門性に
応じて募集人員を調整することとしている。

なお、先端学術院には、教育内容の充実のため、新たな履修区分として日本語
科学コースと総合地球環境学コースを設けるが、先端学術院先端学術専攻の入
学定員は過去の状況を踏まえた 120 名とする。

入学定員を 120 名とした場合、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 カ年にお
ける平均の志願者数と比較しても、なお 2.2 倍の志願倍率を維持しており、継続
的に適切に学生を確保できる見通しである。

また、調査会社を活用して、広く進学対象年齢となる者に 3 月にモニター調査を
行った (資料 2「先端学術院先端学術専攻 (仮称) の設置に係るニーズアセスメン
ト調査報告書」参照) ところ、本学へ入学したい、入学を検討したいと回答した者
は 633 人であった。

入学定員を 120 名とした場合、志願倍率は約 5 倍となり、適切な学生は全国か
ら広く確保できる見通しである。また、本学へ入学したいと回答した者のうち、社
会人が約 5 割を占めており、先端学術院の設計が、社会のニーズに合致しているこ
とも伺える結果となっている。

更に、本学ウェブサイト先端学術院構想の特設サイトを立ち上げ、構想の紹介

とともにアンケートフォームを設置し、本学の教育再編に興味を持って訪れた者に対してもアンケートを実施した（資料3「先端学術院ウェブサイトアンケート結果（学部・修士課程相当者向け）（2022年3月31日時点）」を参照）。このやり方は、特定の層に向けて直接回答を依頼できないものの、回答する側において、自ら特設サイトにアクセスした上でアンケートフォームページに移動し、入力するという複数の行為が必要になり、通常のアンケートと比して、本学の教育再編に対して積極的に行動を起こすだけの興味関心を有していることから、回答結果については強い動機に基づくものといえる。

アンケートに回答した者のうち、本学へ入学したい、入学を検討したいと回答した者は67人、82%であった。自ら総研大のウェブサイトを訪れ、入学を希望、検討しているという強い動機に基づく者も一定の割合に上がることが確認された。

これらを踏まれば再編後の先端学術院においても継続的に定員を充足することは十分可能と考えている。

（2） 学生確保に向けた具体的な取組状況

① 経済的支援制度（授業料免除、SOKENDAI 特別研究員制度）の周知と支援

総合研究大学院大学では、「国立大学法人総合研究大学院大学における授業料その他の費用等の取扱いに関する規則」による授業料免除制度（全額免除／半額免除）に加え、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の助成を受けた「SOKENDAI 特別研究員制度」を設け、公募により採用した優秀な学生に対し、研究奨励費等の手厚い支援を行っている。これらの経済支援制度を学生にしっかりと周知・説明する。

② 長期履修制度の実施

総合研究大学院大学では、社会人の入学者に対する就学支援として、長期履修制度を実施する。社会人学生の履修を容易にするため、3年分の授業料で最長5年間在学できる「長期履修制度」を実施する。

③ 入学試験制度

総合研究大学院大学では、秋と冬の年2回の入試を実施するとともに、海外に居住する外国籍を有する者と対象とした「海外から出願する私費外国人留学生特別選抜」を実施することにより、外国人留学生や社会人を安定的に受け入れている。

④ 入学説明会等の開催

総合研究大学院大学は、全国の大学共同利用機関を基盤機関として教育を実施する唯一の大学であることから、各共同利用機関の研究内容・教育内容を周知するべく、各共同利用機関で年2回の説明会を毎年実施している。これらの説明会は、総合研究大学院大学のウェブサイトに掲載するほか、各共同利用機関のウェブサイトでも掲載して周知している。

加えて、先端学術院設置に当たっては、特設サイトを立ち上げて広く周知するとともに、各機関の取り組みや学生の研究内容などを常時周知している。

さらに、先端学術院構想について、過去の入学実績もあり、大学院を有さない教育機関である国立高等専門学校に対しても、特設サイトを案内するなどして周知した。

⑤ 外国人留学生への支援

総合研究大学院大学では、新入学の外国人留学生に対して、留学生の学習・研究効果の向上を図ることを目的として、チューターによる、教育・研究について個別の課外指導及び生活指導を行う「留学生チューター制度」を設けている。

チューターは、留学生の指導教員の推薦に基づき、その専攻する分野に関連のある学生等から大学が選定することになっている。

チューターは、留学生の家庭教師として、また大学等における最初の学友として、留学生の我が国での学習・研究生活の大きな支えとなるように研究指導を中心に、学習面や生活面でのサポート（来日後の学内外の案内、諸手続きのための官公庁等（入国管理局、郵便局、市町村役場等）への同行、銀行の口座開設・利用方法、携帯電話の購入、電気・ガスの開始・使用料金の取め方、病院への付き添い、事務からの連絡内容の英訳、各種提出書類記入の手伝い）等の業務を行っている。

また、総合研究大学院大学のウェブサイトにおいて、私費留学生の生活の一助になるよう、私費留学生が応募できる奨学金を取りまとめ、周知している。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

先端学術院では、多様な学術領域にわたる先端研究の現場を擁し、他に類を見ない組織編成を持つ大学院大学として、個々の基盤機関の研究面での特性、強みや自主性を生かしながら、これまで行ってきた分野に特化した研究者人材の育成に加えて、複数の分野が関連する複合領域の研究者人材の育成を目指す。新たに策定する先端学術院のディプロマ・ポリシーでは、これまで本学が掲げてきたディプロマ・ポリシーの3つの柱である「高い専門性」「広い視野」「国際的な通用性」をより具体的に咀嚼し、修了者が身に着けているべき5つの<自立した研究者としての力量>として以下の

とおり明示する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（総合研究大学院大学は、）本学の教育課程における修了要件を満たし、自らが専門とする学問分野の基本的な知識と教養を修得したうえで、以下に掲げる＜自立した研究者としての力量＞を身につけ、審査及び試験に合格した者に学位を授与する。	
専門力	自らが専門とする学術領域に蓄積された知見と方法論を修得し、それらを応用して高度な研究を推進することができる。
独創性	研究を通して事象を深く理解し、自由な着想に基づいて未踏の課題に挑戦し、新たな知的価値を生み出すことができる。
学際性	自らの専門性に立脚しつつ、学際的な視点から周辺領域の課題に取り組み、幅広い学術の進展に資することができる。
国際力	国・地域・言語・文化・性別・宗教などに捉われない理解と協働に基づき、高い普遍性をもつ学術成果を発信することができる。
倫理性	自らが行う学術研究の社会的な意義や位置づけを認識し、研究者としての倫理観と責任感をもって行動することができる。

(2) 上記2.(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 総合研究大学院大学における就職実績

総合研究大学院大学の修了者の就職状況については、資料4「修了生及び単位取得退学者の進路状況（平成28年度～令和2年度）」に示しているとおり、未回答を除いて平均して約7割の者が大学や研究所、企業の研究職、技術職など、専門性を活かして就職している。また、2001年～2008年の修了生の10年後の状況に関する追跡調査（資料5「修了生追跡調査結果（2001～2008修了生）」参照）でも、約4分の3（75%）もの修了生が大学や研究所、企業の研究職などの研究者として活躍している。

② アンケート調査

本学ウェブサイト先端学術院構想の特設サイトを立ち上げ、構想の紹介とともに設置したアンケートフォームには、将来の受験生となりえる学生向けのアンケートのほか、修了者の就職先として考えられる大学、研究所や企業の研究者向けのアンケートも併設しており、本学の教育再編に興味を持って訪れた研究者に対してもアンケートを行った。アンケートの回答者のうち、今回の教育再編を「大いに評価する」「評価する」「ある程度評価する」と回答した者は87%、さらに「本学の修了生は、あなた

の業種で活躍できると思いますか。」の問いに対して「大いにそう思う」「思う」「ある程度そう思う」と回答した者は96%に達し、人材需要の動向に見合った構想となっているといえる(資料6「先端学術院ウェブサイトアンケート結果(企業・研究者向け)(2022年3月31日時点)」参照)。

また、既に述べた通り、調査会社を活用して、広く進学対象年齢となる者に行ったモニター調査(資料2「先端学術院先端学術専攻設置に係るニーズアセスメント調査報告書」参照)では、入学したい、入学を検討したいと回答した者のうち、社会人が約5割を占めており、先端学術院の設計が、社会のニーズに合致していることも伺える結果となっている。

③ 我が国における動向を踏まえた人材需要

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(平成30年11月26日中央教育審議会)においては、各大学等が多様な教育プログラムの提供を実現するため、時代の変化に応じ、従来の学部・研究科等の組織の枠を越えて、迅速かつ柔軟なプログラム編成ができるようにすることが必要である、と記載されている。その際には、適正な履修ガイダンスを前提として、学生が、所属する学部・研究科等の組織を越えて、幅広い授業科目の中から柔軟に選択できるようにするなど、学修者の視点から履修の幅を広げるような取組も重要である、とも記載されている。

本学の先端学術院の設置により実施しようとしている教育は、まさに本答申の記載内容そのものであり、我が国の政策の方向性に沿ったものとなっている。

また、「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策～(審議まとめ)」(平成31年1月22日中央教育審議会大学分科会)においては、Society5.0の実現等、2040年頃の社会変化に対応するため「知のプロフェッショナル」が諸外国と遜色ない水準で活躍することが必要であり、「知のプロフェッショナル」の育成を大学院が中心的に担う、と記載されている。「知のプロフェッショナル」とは、① 学部段階で身に付けることが求められる論理性や批判的思考力、コミュニケーション能力等の普遍的なスキル、リテラシーのいずれも高い水準で身に付けていること、および、② 自ら課題を発見し仮説を構築・検証する力等の、大学院でこそ身に付けることが期待される、社会を先導する力、様々な場面で通用するトランスファラブルな力、各セクターを先導できる複数の領域にわたる高度な専門的知識が求められ、あわせて、STEAM、データサイエンス、幅広い教養が必要と定義されている。

本学が設置しようとしている先端学術院は、これらの力を兼ね備えた人材を輩出しようとしたものであり、この点についても我が国の政策の方向性に沿ったものとなっている。

学生確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

- 資料 1 既設研究科の入学定員充足状況（平成 29 年度～令和 3 年度平均）
- 資料 2 先端大学院先端学術専攻（仮称）の設置に係るニーズアセスメント調査
報告書
- 資料 3 先端大学院ウェブサイトアンケート結果（学部・修士課程相当者向け）
（2022 年 3 月 31 日時点）
- 資料 4 修了生及び単位取得退学者の進路状況（平成 28 年度～令和 2 年度）
- 資料 5 修了生追跡調査結果（2001～2008 修了生）
- 資料 6 先端大学院ウェブサイトアンケート結果（企業・研究者向け）（2022 年
3 月 31 日時点）
- 参考資料 アンケート調査に利用した設置構想資料

既設研究科の入学定員充足状況 (H29-R3平均)

		入学定員		5年平均 (H29-R3)		
		現定員 (A)	志願者数 (B)	入学者 (C)	志願倍率 (B/A)	定員充足率 (C/A)
5年一貫	物理科学研究科	10	53.8	16.8	5.38	168.0%
	構造分子科学専攻	2	5.2	3.4	2.60	170.0%
	機能分子科学専攻	2	7.0	3.4	3.50	170.0%
	天文科学専攻	2	25.0	4.4	12.50	220.0%
	核融合科学専攻	2	7.8	3.2	3.90	160.0%
	宇宙科学専攻	2	8.8	2.4	4.40	120.0%
	高エネルギー加速器科学研究科	9	30.6	10.6	3.40	117.8%
	加速器科学専攻	2	5.2	2.2	2.60	110.0%
	物質構造科学専攻	3	2.6	1.4	0.87	46.7%
	素粒子原子核専攻	4	22.8	7.0	5.70	175.0%
	複合科学研究科	8	31.0	14.6	3.88	182.5%
	統計科学	2	4.8	1.4	2.40	70.0%
	極域科学	2	5.6	2.4	2.80	120.0%
	情報学	4	20.6	10.8	5.15	270.0%
	生命科学研究所	9	38.8	15.2	4.31	168.9%
	遺伝学	3	23.8	7.4	7.93	246.7%
	基礎生物学	3	10.0	4.6	3.33	153.3%
	生理科学	3	5.0	3.2	1.67	106.7%
	先導科学研究科	5	4.4	1.8	0.88	36.0%
	統合進化科学	5	4.4	1.8	0.88	36.0%
計		41	158.6	59.0	3.87	143.9%
後期3年又は 3年次編入	文化科学研究科	15	28.6	11.8	1.91	78.7%
	地域文化学	3	5.8	3.4	1.93	113.3%
	比較文化学	3	5.2	1.6	1.73	53.3%
	国際日本研究	3	8.8	3.2	2.93	106.7%
	日本歴史研究	3	5.8	2.2	1.93	73.3%
	日本文学研究	3	3.0	1.4	1.00	46.7%
	日本語言語科学	-	-	-	-	-
	総合地球環境学	-	-	-	-	-
	物理科学研究科	15	18.6	11.6	1.24	77.3%
	構造分子科学	3	3.2	2.2	1.07	73.3%
	機能分子科学	3	2.4	2.2	0.80	73.3%
	天文科学	3	5.4	2.2	1.80	73.3%
	核融合科学	3	2.4	1.6	0.80	53.3%
	宇宙科学	3	5.2	3.4	1.73	113.3%
	高エネルギー加速器科学研究科	-	9.6	5.2	-	-
	加速器科学	-	4.4	2.2	-	-
	物質構造科学	-	3.6	2.0	-	-
	素粒子原子核	-	1.6	1.0	-	-
	複合科学研究科	10	29.2	21.4	2.92	214.0%
	統計科学	3	9.8	7.4	3.27	246.7%
	極域科学	1	1.8	1.2	1.80	120.0%
	情報学	6	17.6	12.8	2.93	213.3%
	生命科学研究所	18	14.4	10.4	0.80	57.8%
	遺伝学	6	3.0	1.8	0.50	30.0%
	基礎生物学	6	4.0	3.4	0.67	56.7%
	生理科学	6	7.4	5.2	1.23	86.7%
	先導科学研究科	1	1.8	1.4	1.80	140.0%
統合進化科学	1	1.8	1.4	1.80	140.0%	
計		59	102.2	61.8	1.73	104.7%
合計		100	260.8	120.8	2.61	120.8%

総合研究大学院大学
先端学術院先端学術専攻（仮称）の設置に係る
ニーズアセスメント調査
ご報告書

令和4年4月13日

株式会社高等教育総合研究所

目次

1 調査の概要	3
2 全質問項目の集計結果	4
3 集計結果のポイント	12
4 まとめ	19
添付資料（実施した WEB アンケート画面）	20

1 調査の概要

- ◆調査の目的：2023（令和5）年4月に設置計画中の総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻（仮称）について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。

名称	総合研究大学院大学
研究科・専攻	先端学術院先端学術専攻（仮称）
入学定員	120名（5年一貫課程58名、後期3年課程62名）
開設予定	2023（令和5）年4月

- ◆調査期間：2022（令和4）年3月
- ◆調査対象：インターネット調査会社（株式会社クロス・マーケティング）に登録するモニタのうち、①30歳以下の大学3～4年生・大学院修士課程1～2年生の男女（当時）、②20歳以上30歳以下の社会人（大学卒業又は修士課程修了）の男女（当時）
- ◆調査方法：各モニタが調査会社に登録しているメールアドレス宛に電子メールで依頼した。回答者は、当該メールに記載されたURLにパソコン、タブレットなどでアクセスし、WEBアンケートに回答した。
調査対象①又は②に該当する者を抽出するために、事前調査（スクリーニング）を実施し、該当する者のみを対象とした。
- ◆調査内容：無記名、選択肢式7問、記述式2問（うち1問は数値入力）。主な質問事項は、回答者の基本情報（性別、年齢、職業、学歴）、本学への関心、入学意欲など。
- ◆回収件数：4,241件

2 全質問項目の集計結果

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

問1 (SC1) あなたの性別をお知らせください。※1つを選択

選択項目		回答数	構成比
1	男性	1,213	28.6%
2	女性	3,028	71.4%
合計		4,241	100.0%

問2 (SC2) あなたの年齢をお知らせください。※数値を入力

選択項目		回答数	構成比
1	18歳	1	0.0%
2	19歳	1	0.0%
3	20歳	322	7.6%
4	21歳	600	14.1%
5	22歳	685	16.2%
6	23歳	329	7.8%
7	24歳	266	6.3%
8	25歳	298	7.0%
9	26歳	276	6.5%
10	27歳	291	6.9%
11	28歳	377	8.9%
12	29歳	367	8.7%
13	30歳	428	10.1%
合計		4,241	100.0%

問3 (SC3) あなたの属性(学生又は社会人の場合はお勤めの業種)を下記から一つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	学生	1,985	46.8%
2	農林・水産業	7	0.2%
3	鉱業	6	0.1%
4	建設業	72	1.7%

5	製造業	275	6.5%
6	電気・ガス・水道業	39	0.9%
7	情報通信業	139	3.3%
8	運輸業	74	1.7%
9	卸売・小売業	210	5.0%
10	金融・保険業	156	3.7%
11	不動産業	40	0.9%
12	学術研究	8	0.2%
13	専門・技術サービス業	70	1.7%
14	生活関連サービス業・娯楽業	88	2.1%
15	教育	130	3.1%
16	医療・福祉	314	7.4%
17	複合サービス業	91	2.1%
18	公務	110	2.6%
19	その他	427	10.1%
合計		4,241	100.0%

問4 (Q1) あなたの所属等を下記から1つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	大学：学部3年（又は相当）	958	22.6%
2	大学：学部4年（又は相当）	823	19.4%
3	大学院：修士1年（又は相当）	99	2.3%
4	大学院：修士2年（又は相当）	105	2.5%
5	社会人：最終学歴大学卒業（又は相当）	2,062	48.6%
6	社会人：最終学歴大学院修士課程修了（又は相当）	194	4.6%
7	その他	0	0.0%
合計		4,241	100.0%

問5 (Q2) 先端学術院先端学術専攻（仮称）（2023年度設置構想中）について、関心の度合いを教えてください。※1つを選択

選択項目		回答数	構成比
1	非常に関心がある	190	4.5%
2	関心がある	428	10.1%
3	ある程度関心がある	633	14.9%
4	あまり関心がない	1,097	25.9%

5	関心がない	1,893	44.6%
合計		4,241	100.0%

問6 (Q3) 前の質問で「非常に興味がある」「興味がある」「ある程度興味がある」と回答された方に伺います。先端大学院先端学術専攻（仮称）（2023年度設置構想中）の中であなたが興味を持ったことは何ですか？（いくつでも）

※問5で「非常に興味がある」「興味がある」「ある程度興味がある」と回答した1,251名のみが対象。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目		回答数	回答率
1	国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育	505	40.4%
2	分野をまたいだ授業科目の履修が可能なフレキシブルな教育	562	44.9%
3	異なる分野の教員が共同指導を行う、テーラーメイドな学位プログラム	347	27.7%
4	国際共同学位プログラムや海外インターンシップ事業等、国際的な研究者を育成するサポート体制	287	22.9%
5	充実した学生の経済支援	412	32.9%
6	その他	6	0.5%
回答者数		1,251	100.0%

問7 (Q4) 先端大学院先端学術専攻（仮称）（2023年度設置構想中）に、入学したいと思いませんか？ ※1つを選択

選択項目		回答数	構成比
1	入学したい	107	2.5%
2	入学を検討したい	526	12.4%
3	入学したいと思わない	2662	62.8%
4	わからない	946	22.3%
合計		4,241	100.0%

問8 (Q5) 前の質問で「入学したい」「入学を検討したい」と回答された方に伺います。進学を希望するコース、もしくは興味のあるコースを選択してください。

※問7で入学したい」「入学を検討したい」と回答した633名のみが対象。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目		回答数	回答率
1	人類文化研究コース（国立民族学博物館）	119	18.8%

2	国際日本研究コース（国際日本文化研究センター）	128	20.2%
3	日本歴史研究コース（国立歴史民俗博物館）	97	15.3%
4	日本文学研究コース（国文学研究資料館）	85	13.4%
5	日本語言語科学コース（国立国語研究所）	89	14.1%
6	総合地球環境学コース（総合地球環境学研究所）	85	13.4%
7	分子科学コース（分子科学研究所）	56	8.8%
8	天文学コース（国立天文台）	63	10.0%
9	核融合科学コース（核融合科学研究所）	34	5.4%
10	宇宙科学コース（宇宙科学研究所）	85	13.4%
11	加速器科学コース（加速器研究施設・共通基盤研究施設）	27	4.3%
12	物質構造科学コース（物質構造科学研究所）	41	6.5%
13	素粒子原子核コース（素粒子原子核研究所）	31	4.9%
14	統計科学コース（統計数理研究所）	49	7.7%
15	極域科学コース（国立極地研究所）	30	4.7%
16	情報学コース（国立情報学研究所）	76	12.0%
17	遺伝学コース（国立遺伝学研究所）	82	13.0%
18	基礎生物学コース（基礎生物学研究所）	86	13.6%
19	生理科学コース（生理学研究所）	96	15.2%
20	統合進化科学コース（葉山キャンパス）	23	3.6%
21	未定・不明	66	10.4%
回答者数		633	100.0%

問9 (Q6) アンケートは以上です。ありがとうございました。そのほか、コメント等ございましたら、こちらに記載してください。※記述式

気になる候補の1つになりました。
機会があれば是非博士課程の進学を検討したいです。
いろんな分野を跨いでの学習は、これからの時代必要だと思います。
このような場所があることを知らなかったが、様々な研究所とつながることができるのは大変良いことだと思う。
世界に負けない優秀な人材を育成できるのならとても良いと思う。
とても充実した生活ができそうな大学院だと感じました。
とても楽しそうな大学です！就職していなかったら確実に候補に入ります
様々な分野を集めていて非常にいい環境だと思う。今後に期待したい。
来年度大学院に進学予定なので、専門学が学べる大学が増えるのはとても関心が強いです。

大学院大学へ進学する際、最も悩ましいのは、今の lab のスタッフとの関係で、環境面は抜群に大学院大学のほうが良いと思うので悩ましい。
自身が大学で学んだことの延長であれば、非常に興味はあります。
自分の分野やそれ以上のことが学べそう
自分も大学院進学希望の理系大学生なので、大学院の情報に興味があります。今度情報が更新されれば、また個人的に調べてみようと思います。
社会人として、再度学びやすい環境がほしいです。
社会人になってからも学び直す場が増えるのはいいと思った
就職後、お金が貯まったら大学院へ行くという選択肢もありだと思う
その大学院は社会人学生でも行けますか？
働き始めても入ることができるのか気になる
どのような研究室があるか詳しく知りたい
どんな大学なとかとても気になる。
もっと詳しい情報が欲しいです。
もっと詳しく調べてみようと思いました
民俗学大事です
今まで文系だったので勉強ジャンル問わずしたい
どんな大学なのか少し気になるが、難しそうなのはなんとなく思った
今回のアンケートで先端学術院先端学術専攻の存在を初めて知りました。またこのようなアンケートに回答する事の出来る機会があれば、是非回答したいです。ありがとうございました。
なかなか触れる機会のないことに触れられそうで良かったです
一度社会に出たが、こういうものがあることを知れてよかった
学びたい人が学べるのはいいことだと思いました。
今までにあまりない独特な学部ができて面白いと思った
日本の教育をより良いものにしていただきたいです。
非常に興味深い内容でした。
今から大学院に入学することは考えていないが社会人になってから入学する人もいると聞くので一般教養として興味はある
いろいろと想い悩まされた
指定校推薦で全く興味のない学部に入學して4年で出られたので、自分の好きなことを学んだらどうなるのか気になるので大学院はわりと本気で考えてる
資料請求はできますか
将来の研究者を輩出してほしい。
詳細を知りたい
内容を詳しく見てみたいと思った

頑張ってください
研究頑張ってください
夢について改めて考えることが出来ました！ありがとうございます
期待が高まります。
面白そうですね知るきっかけをくださってありがとございます
興味がある
興味深い
興味そられるアンケート内容でした。
楽しそうです
楽しみです
楽しく回答させていただきました
おもしろそう
よかった
とても楽しいから
わかりやすい
是非入学させてください！
大学院進学時代に興味はあります
お金面が心配である
そもその機構の説明が必要だろうと思う
前問の選択肢以外の研究科が設置されればより検討するかもしれない。
学費次第
もう少し若ければ考えます
そんなお金はないから
どんな大学院か全く分からない。
なにをやる場所なのかよくわからない
なんの勉強をするのかわからない専攻名だった
よくわからない名前の学校
学部の詳細がよくわからなかった
研究内容が妥当か不明詳細が
仮称だけの情報では何のことだか分からない。
言葉だけでは内容がわからず、どんなことが学べるのかイメージ出来ませんでした。
まったく魅力も興味もなかった
もう三十路も近いので学び直したいとは早々思わないです。金融リテラシーを高めるセミナーとかには行ってみたい
よく分からない

よく分からない分野だったので！
医学生なので関係ないと思いました
医学部医学科なので6回生まで行き、その後に今行っている大学の大学院に行くかも分かりません。
文系にはちょっと難しい
文系専攻にて
理系でしたら興味を抱くかもしれませんが、文系のためあまり興味を持ってませんでした。
法学部卒業して法科大学院に在学なので法学しか専攻念頭にない
学びたいことがないから
学べる内容が分からない
学生に戻るつもりはない
看護師
教育に専念するように
興味がない
今のところ興味がないから
現段階の所では、はじめ特にコメントは何もありません。
今後学校に入学しようとは思っていません
今更学生に戻れない
思い浮かばない
時間かかるから
初めて存在を知った
振り回される事務側の身にもなれよ。
大学か大学院か、問うてから、本調査に遷移するべきだ
大学は溢れかえっているからもう必要ない
大学は出といた方が損はない
大学院まで行きたいと思ったことはない
大学院進学しましたが、女性蔑視やセクハラ、パワハラの横行に精神を病んで中退しました。もう学術の世界にはうんざりしています。
大卒だから
知らない
知りませんでした。力になれず住みません
特に無い。仕事が忙しいから再び学校で学ぶ時間がない。
読みにくい
内容が難しい
難しそう

日本の学力の発展を期待します。
必要性を感じない
不明
分からない
便利
勉強できそう
もう勉強したくない
名前が分かりにくい
目標を達成したい
様々な考え方があるのだと思った。

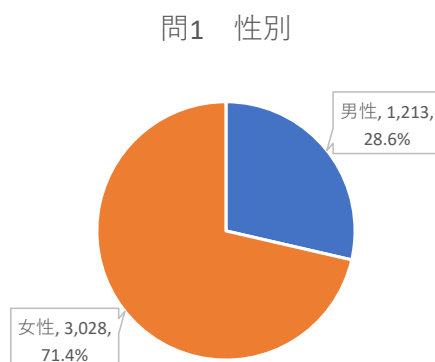
※原文ママ。「なし」「特になし」「ありがとうございました」等のコメントは割愛した。同一内容のコメントが複数あった場合は1点のみ記載し、他は割愛した。

3 集計結果のポイント

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

◆ 回答者の約7割が女性、約3割が男性

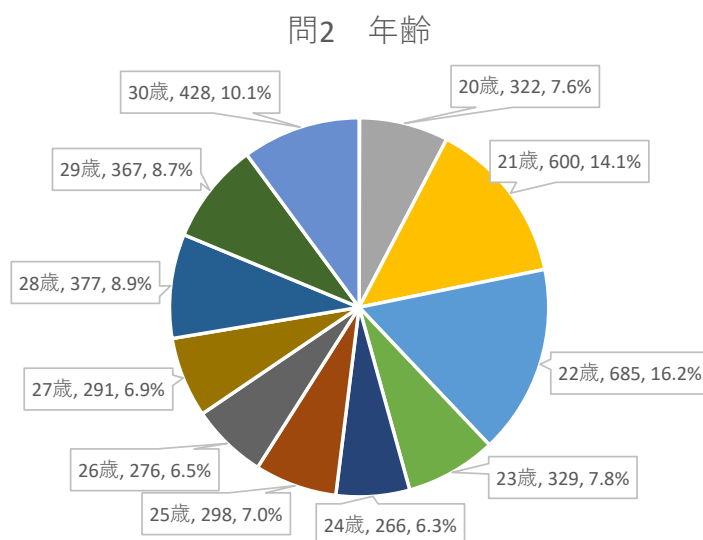
回答者の性別は71.4%が女性、28.6%が男性だった。



◆ 回答者の年齢は30歳以下

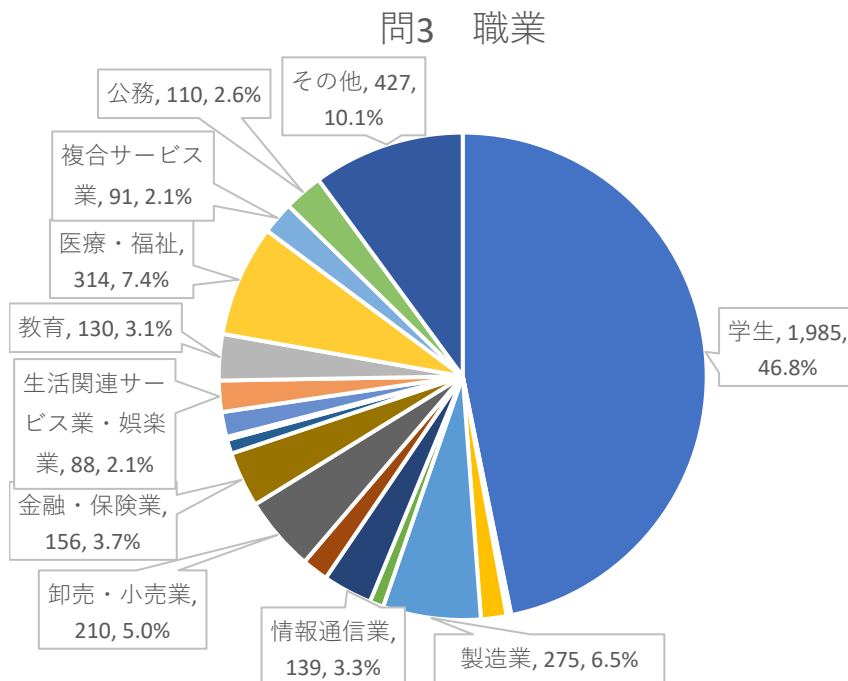
回答者の年齢は2名（18歳1名、19歳1名）を除いたすべてが20歳以上、30歳以下だった（調査時）。

※本学は31歳以上も入学可能であり、一定数の入学を見込むことができると想定しているが、本調査では30歳以下を対象とした。



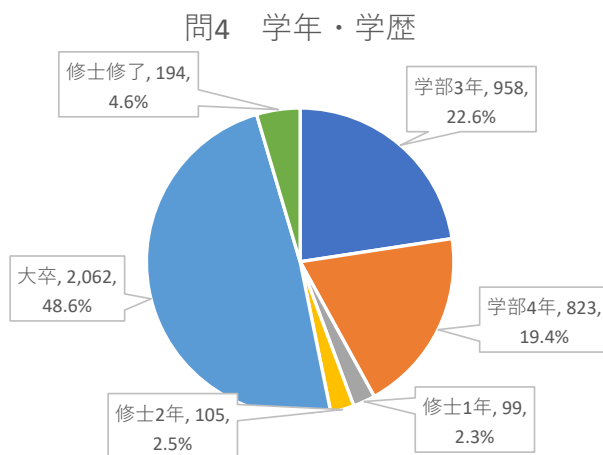
◆ 回答者の約半数が学生（大学院生を含む）、残り半数が社会人

回答者は、学生（大学院生を含む）が46.8%、残りの約半数が社会人だった。社会人の職業は「医療・福祉」（7.4%）、「製造業」（6.5%）、「卸売・小売業」（5.0%）の順に多かった。



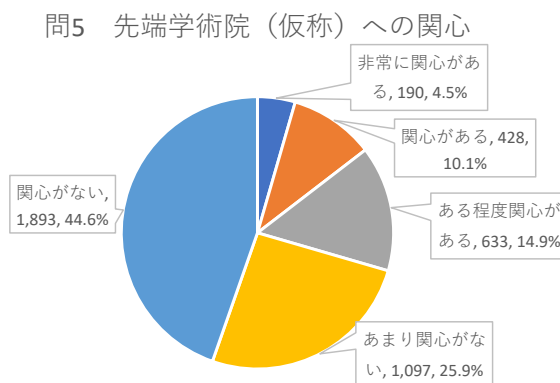
◆ 開設時に入学が見込める学生・社会人を対象とした

開設予定の2023（令和5）年4月に入学対象となる学生・社会人のみを対象とした。1番多いのが社会人（大卒）で48.6%、2番目が学部3年生で22.6%、3番目が学部4年生で19.4%、4番目が社会人（修士修了）で4.6%である。



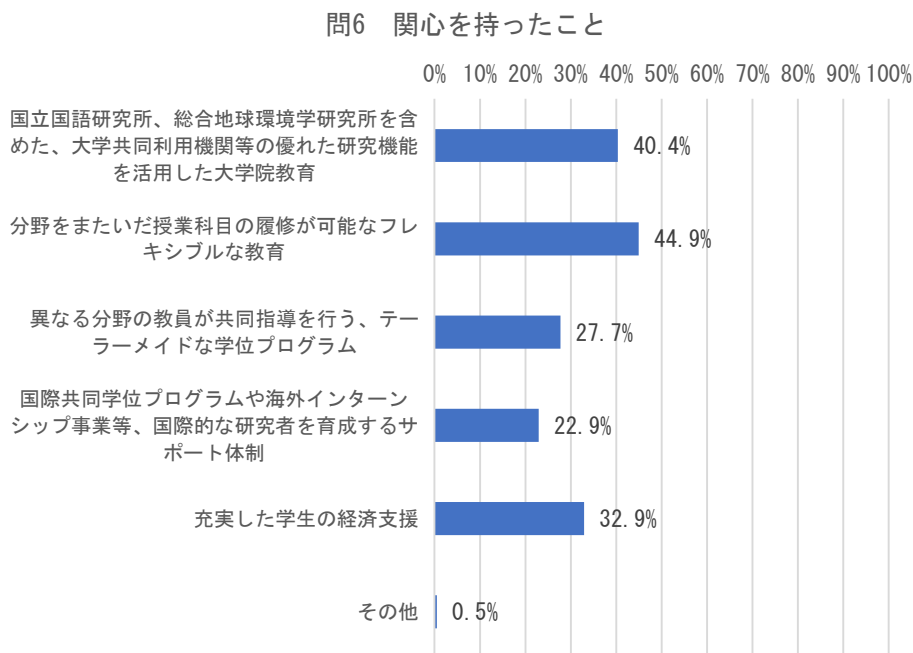
◆ 回答者の約3割が先端学術院先端学術専攻（仮称）に関心

先端学術院先端学術専攻（仮称）について、関心の度合いを質問したところ、「非常に関心がある」が4.5%、「関心がある」が10.1%、「ある程度関心がある」が14.9%だった。したがって、約3割（29.5%）が先端学術院先端学術専攻（仮称）への関心を示した。



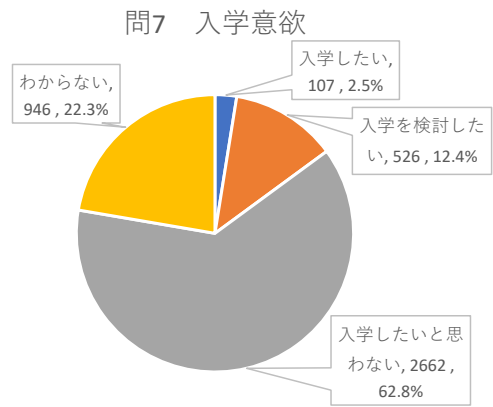
◆ 先端学術院先端学術専攻（仮称）の各特色に一定の関心が示された

問5で「非常に関心がある」「関心がある」「ある程度関心がある」と回答した計1,251名に対して、先端学術院先端学術専攻（仮称）の中で関心を持ったことを質問（複数選択可）したところ、1番多かったのが「分野をまたいだ授業科目の履修が可能なフレキシブルな教育」で44.9%、2番目が「国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育」で40.4%、3番目が「充実した学生の経済支援」で32.9%だった。



◆ 107 名が入学したいと回答

先端学術院先端学術専攻（仮称）への入学意欲を質問したところ、「入学したい」が 107 名（2.5%）、「入学を検討したい」が 526 名（12.4%）だった。



◆<クロス集計>「入学したい」と回答した者の内訳

問7で「入学したい」と回答した107人について、問1～6及び問8の回答をクロス集計した。

問1とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目		回答数	構成比
1	男性	50	46.7%
2	女性	57	53.3%
合計		107	100.0%

問2とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目		回答数	構成比
1	18歳	0	0.0%
2	19歳	0	0.0%
3	20歳	8	7.5%
4	21歳	15	14.0%
5	22歳	14	13.1%
6	23歳	14	13.1%
7	24歳	10	9.3%
8	25歳	9	8.4%
9	26歳	7	6.5%
10	27歳	7	6.5%
11	28歳	10	9.3%
12	29歳	7	6.5%
13	30歳	6	5.6%
合計		107	100.0%

問3とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目		回答数	構成比
1	学生	54	50.5%
2	農林・水産業	1	0.9%
3	鉱業	1	0.9%
4	建設業	7	6.5%
5	製造業	10	9.3%
6	電気・ガス・水道業	1	0.9%
7	情報通信業	2	1.9%
8	運輸業	2	1.9%
9	卸売・小売業	3	2.8%
10	金融・保険業	3	2.8%
11	不動産業	0	0.0%
12	学術研究	0	0.0%
13	専門・技術サービス業	0	0.0%
14	生活関連サービス業・娯楽業	2	1.9%
15	教育	2	1.9%
16	医療・福祉	9	8.4%
17	複合サービス業	2	1.9%
18	公務	1	0.9%
19	その他	7	6.5%
合計		107	100.0%

問4とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目		回答数	構成比
1	大学：学部3年（又は相当）	28	26.2%
2	大学：学部4年（又は相当）	18	16.8%
3	大学院：修士1年（又は相当）	3	2.8%
4	大学院：修士2年（又は相当）	5	4.7%
5	社会人：最終学歴大学卒業（又は相当）	42	39.3%
6	社会人：最終学歴大学院修士課程修了（又は相当）	11	10.3%
7	その他	0	0.0%
合計		107	100.0%

問5とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目		回答数	構成比
1	非常に興味がある	79	73.8%
2	興味がある	17	15.9%
3	ある程度興味がある	8	7.5%
4	あまり興味がない	1	0.9%
5	興味がない	2	1.9%
合計		107	100.0%

問6とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答> ※複数選択可

選択項目		回答数	回答率
1	国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育	72	67.3%
2	分野をまたいだ授業科目の履修が可能なフレキシブルな教育	55	51.4%
3	異なる分野の教員が共同指導を行う、テラーメイドな学位プログラム	38	35.5%
4	国際共同学位プログラムや海外インターンシップ事業等、国際的な研究者を育成するサポート体制	23	21.5%
5	充実した学生の経済支援	24	22.4%
6	その他	2	1.9%
回答者数		107	100.0%

問8とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答> ※複数選択可

	選択項目	回答数	回答率
1	人類文化研究コース（国立民族学博物館）	38	35.5%
2	国際日本研究コース（国際日本文化研究センター）	31	29.0%
3	日本歴史研究コース（国立歴史民俗博物館）	22	20.6%
4	日本文学研究コース（国文学研究資料館）	19	17.8%
5	日本語言語科学コース（国立国語研究所）	18	16.8%
6	総合地球環境学コース（総合地球環境学研究所）	20	18.7%
7	分子科学コース（分子科学研究所）	16	15.0%
8	天文科学コース（国立天文台）	14	13.1%
9	核融合科学コース（核融合科学研究所）	13	12.1%
10	宇宙科学コース（宇宙科学研究所）	23	21.5%
11	加速器科学コース（加速器研究施設・共通基盤研究施設）	12	11.2%
12	物質構造科学コース（物質構造科学研究所）	10	9.3%
13	素粒子原子核コース（素粒子原子核研究所）	11	10.3%
14	統計科学コース（統計数理研究所）	10	9.3%
15	極域科学コース（国立極地研究所）	12	11.2%
16	情報学コース（国立情報学研究所）	15	14.0%
17	遺伝学コース（国立遺伝学研究所）	20	18.7%
18	基礎生物学コース（基礎生物学研究所）	14	13.1%
19	生理科学コース（生理学研究所）	17	15.9%
20	統合進化科学コース（葉山キャンパス）	7	6.5%
21	未定・不明	11	10.3%
回答者数		107	100.0%

4 まとめ

◆ 調査の結果、107名が強い入学意欲を示した

2023年（令和5年）4月設置計画中の総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻（仮称）（入学定員120名）の学生確保の見通しを測るため、学部3～4年生、修士課程1～2年生及び30歳以下の社会人（大卒又は修士修了）にWEBアンケートを依頼したところ、4,241名から回答を得た。

問7(Q4)で先端学術院先端学術専攻（仮称）への入学意欲を質問したところ、107名（2.5%）が「入学したい」と回答した。

さらに、「入学したい」と回答した107名に対して、進学を希望するコース（※複数選択可）を質問したところ、下表左の結果が得られた。回答数の合計が353なので、1人平均3.3コースを選択している（ $353 \div 107 \approx 3.3$ ）。各コースの回答数を3.3で除することで、各コースの入学希望人数を換算すると下表右の値となる。

問8とのクロス集計<問7で「入学したい」と回答>

選択項目	回答数	各コースの換算人数
1 人類文化研究コース（国立民族学博物館）	38	12
2 国際日本研究コース（国際日本文化研究センター）	31	9
3 日本歴史研究コース（国立歴史民俗博物館）	22	7
4 日本文学研究コース（国文学研究資料館）	19	6
5 日本語言語科学コース（国立国語研究所）	18	5
6 総合地球環境学コース（総合地球環境学研究所）	20	6
7 分子科学コース（分子科学研究所）	16	5
8 天文科学コース（国立天文台）	14	4
9 核融合科学コース（核融合科学研究所）	13	4
10 宇宙科学コース（宇宙科学研究所）	23	7
11 加速器科学コース（加速器研究施設・共通基盤研究施設）	12	4
12 物質構造科学コース（物質構造科学研究所）	10	3
13 素粒子原子核コース（素粒子原子核研究所）	11	3
14 統計科学コース（統計数理研究所）	10	3
15 極域科学コース（国立極地研究所）	12	4
16 情報学コース（国立情報学研究所）	15	5
17 遺伝学コース（国立遺伝学研究所）	20	6
18 基礎生物学コース（基礎生物学研究所）	14	4
19 生理科学コース（生理学研究所）	17	5
20 統合進化科学コース（葉山キャンパス）	7	2
21 未定・不明	11	3
合計	353	107

→
X—

したがって、全てのコースに複数の入学希望者を見込みつつ、107名の入学希望者を得た。本調査のみでは、計画中の入学定員120名を下回っているが、大学の独自調査と合計することで入学定員を上回る結果となった。

したがって、2023年（令和5年）4月設置計画中の総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻（仮称）の学生確保の見通しは問題ないと判断できる。

対象外条件 SC2_1 < 18 または SC2_1 > 30 (即時回答終了)

対象外条件 Q1 = 「7. その他」 (即時回答終了)

対象外条件 SC3 = 「2. 農林・水産業」 ~ 「19. その他」 (即時回答終了)

アンケート画面開始

Page 1

SC1

必須設定 回答必須

SC1

あなたの性別をお知らせください。

1 男性

2 女性

次へ

0 50 100(%)

SC2

対象外条件 SC2_1 < 18 または SC2_1 > 30 (即時回答終了)

- カテゴリ 1歳

必須設定 回答必須

回答制御 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

SC2

あなたの年齢をお知らせください。

歳

次へ

0 50 100(%)

SC3

必須設定

回答必須

対象外条件

SC3 = 「2. 農林・水産業」～「19. その他」(即時回答終了)

SC3

あなたの属性(学生又は社会人の場合はお勤めの業種)を下記から一つ選択してください。

- 1 学生
- 2 農林・水産業
- 3 鉱業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業
- 9 卸売・小売業
- 10 金融・保険業
- 11 不動産業
- 12 学術研究
- 13 専門・技術サービス業
- 14 生活関連サービス業・娯楽業
- 15 教育
- 16 医療・福祉
- 17 複合サービス業
- 18 公務
- 19 その他

次へ



0 50 100(%)

Q1

必須設定 回答必須**対象外条件** Q1 = 「7. その他」(即時回答終了)

- カテゴリ 1.大学:学部3年(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「1. 学生」

- カテゴリ 2.大学:学部4年(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「1. 学生」

- カテゴリ 3.大学院:修士1年(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「1. 学生」

- カテゴリ 4.大学院:修士2年(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「1. 学生」

- カテゴリ 5.社会人:最終学歴大学卒業(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「2. 農林・水産業」～「19. その他」

- カテゴリ 6.社会人:最終学歴大学院修士課程修了(又は相当)

回答者条件 SC3 = 「2. 農林・水産業」～「19. その他」

Q1

あなたの所属等を下記から1つ選択してください。

- 1 大学:学部3年(又は相当)
- 2 大学:学部4年(又は相当)
- 3 大学院:修士1年(又は相当)
- 4 大学院:修士2年(又は相当)
- 5 社会人:最終学歴大学卒業(又は相当)
- 6 社会人:最終学歴大学院修士課程修了(又は相当)
- 7 その他

次へ


 0 50 100(%)

■本アンケートで収集した情報は、総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻(仮称)(2023年度設置構想中)の設置に向けた資料として活用いたします。同意いただける場合、回答を開始してください。

■名称:総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻(仮称)

■入学定員:120名(博士課程)

(5年一貫課程58名、後期3年課程62名)

■養成する人物像:20の大学共同利用機関等における高度で優れた研究環境を活用し、基礎学術分野において、国際的に通用する高度の研究的資質を持つ広い視野を備えた研究者の育成を目指します

■学生納付金:初年度817,800円(国立大学標準額)

※先端学術院先端学術専攻(仮称)については、以下リンクのPDF(10ページ)をご覧ください。

先端学術院先端学術専攻(仮称)についての詳細は[こちらのPDF](#)をご覧ください。

次へ

0 50 100(%)

Q2

必須設定 回答必須

Q2

先端学院先端学術専攻(仮称)(2023年度設置構想中)について、
関心の度合いを教えてください。

- 1 非常に興味がある
- 2 興味がある
- 3 ある程度興味がある
- 4 あまり興味がない
- 5 興味がない

次へ

0 50 100(%)

Q3

必須設定 回答必須**回答者条件** Q2 = 「1. 非常に興味がある」～「3. ある程度興味がある」

- カテゴリ 6.その他

- カテゴリ 6.その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須**入力文字数** 100文字まで

Q3

前の質問で「非常に興味がある」「興味がある」「ある程度興味がある」と回答された方に伺います。

先端学術院先端学術専攻(仮称)(2023年度設置構想中)の中で

あなたが関心を持ったことは何ですか? (いくつでも)

- 国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育
- 分野をまたいだ授業科目の履修が可能なフレキシブルな教育
- 異なる分野の教員が共同指導を行う、テーラーメイドな学位プログラム
- 国際共同学位プログラムや海外インターンシップ事業等、国際的な研究者を育成するサポート体制
- 充実した学生の経済支援
- その他

 次へ

0 50 100(%)

Q4

必須設定 回答必須

Q4

先端大学院先端学術専攻(仮称)(2023年度設置構想中)に、入学したいと思いますか？

- 1 入学したい
- 2 入学を検討したい
- 3 入学したいと思わない
- 4 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q5

必須設定

回答必須

回答者条件

Q4 = 「1. 入学したい」, 「2. 入学を検討したい」

回答制御

排他カテゴリ「21. 未定・不明」に該当しない場合はアラートを表示

Q5

前の質問で「入学したい」「入学を検討したい」と回答された方に伺います。
進学を希望するコース、もしくは興味のあるコースを選択してください。
(いくつでも)

- 1 人類文化研究コース(国立民族学博物館)
- 2 国際日本研究コース(国際日本文化研究センター)
- 3 日本歴史研究コース(国立歴史民俗博物館)
- 4 日本文学研究コース(国文学研究資料館)
- 5 日本語言語科学コース(国立国語研究所)
- 6 総合地球環境学コース(総合地球環境学研究所)
- 7 分子科学コース(分子科学研究所)
- 8 天文科学コース(国立天文台)
- 9 核融合科学コース(核融合科学研究所)
- 10 宇宙科学コース(宇宙科学研究所)
- 11 加速器科学コース(加速器研究施設・共通基盤研究施設)
- 12 物質構造科学コース(物質構造科学研究所)
- 13 素粒子原子核コース(素粒子原子核研究所)
- 14 統計科学コース(統計数理研究所)
- 15 極域科学コース(国立極地研究所)
- 16 情報学コース(国立情報学研究所)
- 17 遺伝学コース(国立遺伝学研究所)
- 18 基礎生物学コース(基礎生物学研究所)
- 19 生理科学コース(生理学研究所)
- 20 統合進化科学コース(葉山キャンパス)
- 21 未定・不明

次へ

0 50 100(%)

Q6

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q6

アンケートは以上です。ありがとうございました。

そのほか、コメント等ございましたら、こちらに記載してください。

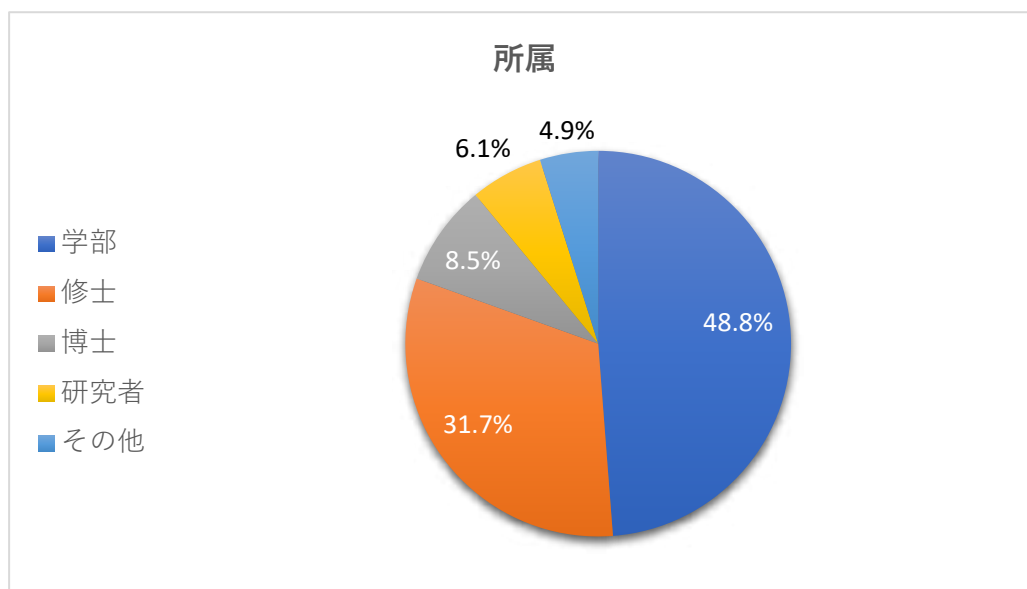
送信

0 50 100(%)

先端学術院ウェブサイトアンケート結果(学部・修士課程相当者向け)(2022年3月31日時点)

あなたの所属等を下記から1つ選択してください。(必須)

所属(2022年4月以降想定される学年に補正)	回答者数
大学:学部1年(又は相当)	5
大学:学部2年(又は相当)	5
大学:学部3年(又は相当)	18
大学:学部4年(又は相当)	12
大学院:修士1年(又は相当)	19
大学院:修士2年(又は相当)	7
大学院:博士課程	7
企業・団体、研究所等に所属する研究者	5
その他	4
集計	82

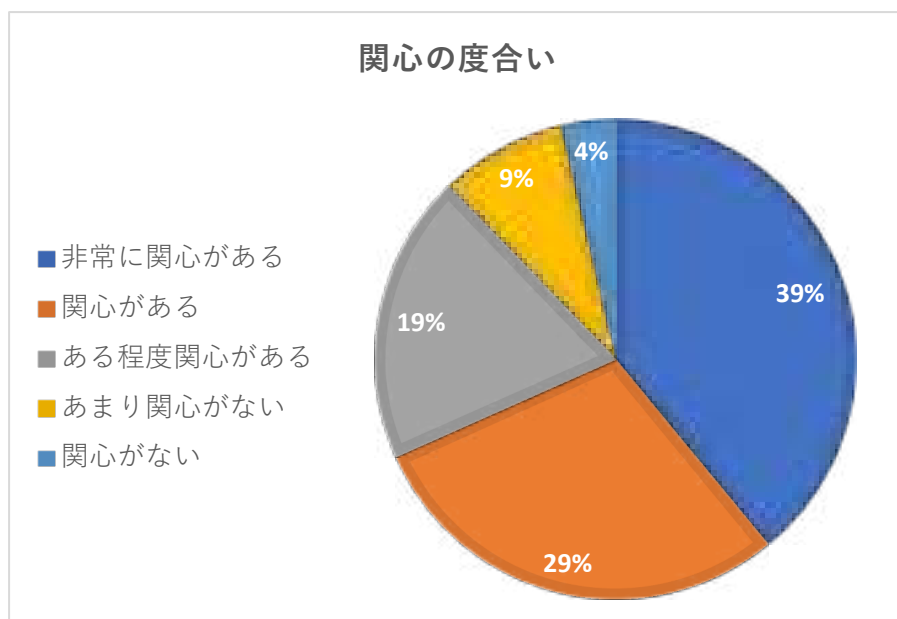


大学院博士課程に進学したいと考える理由を教えてください。(複数回答可・必須)

進学希望理由(複数回答可)	回答者数
興味のある分野で研究を行いたいから	69
学部等で身につけた知識・技能をさらに深めたいから	38
就職の際に活躍の場が広がるから	13
大学等の研究機関や企業等で研究・開発に携わりたいから	49
その他	3
集計	172

2023年度に設置構想中の先端学術院(仮称)について、関心の度合いを教えてください。(必須)

関心の度合い	回答者数
非常に興味がある	32
興味がある	24
ある程度興味がある	16
あまり興味がない	7
興味がない	3
集計	82



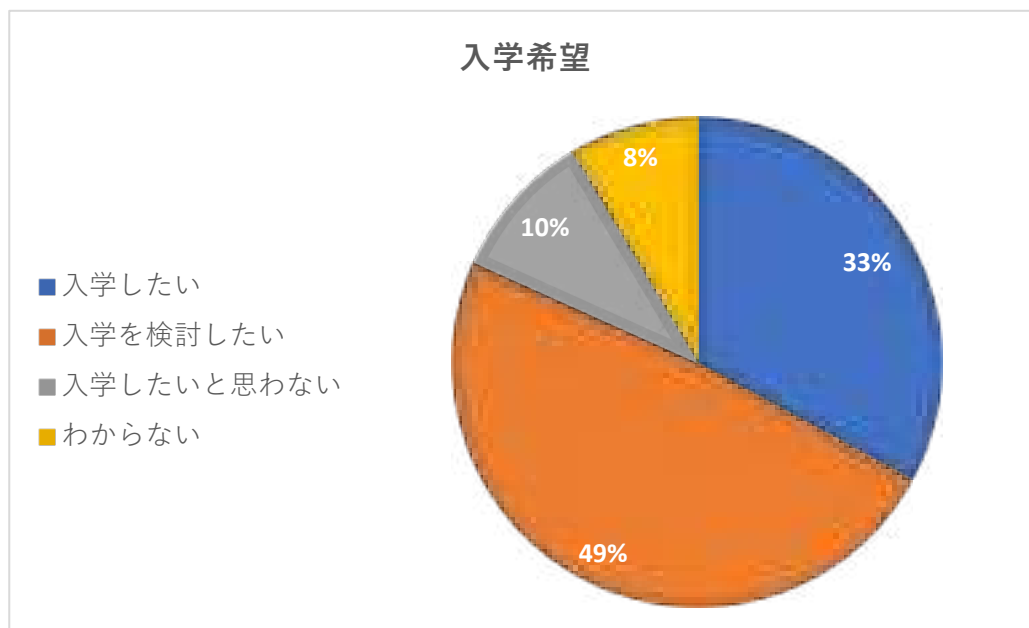
前の質問で「非常に興味がある」「興味がある」「ある程度興味がある」と回答された方に伺います。

本学の新しい大学院構想の中であなたが関心を持ったことは何ですか？(複数回答可・必須)

関心を持ったこと	回答者数
国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育	41
分野をまたいだ授業科目の履修が可能なフレキシブルな教育	37
異なる分野の教員が共同指導を行う、テーラーメイドな学位プログラム	33
国際共同学位プログラムや海外インターンシップ事業等、国際的な研究者を育成するサポート体制	18
充実した学生の経済支援	36
その他	3
集計	168

2023年度に設置構想中の先端学術院(仮称)に、入学したいと思いますか？(必須)

入学希望	回答者数
入学したい	27
入学を検討したい	40
入学したいと思わない	8
わからない	7
集計	82



前の質問で「入学したい」「入学を検討したい」と回答された方に伺います。

進学を希望するコース、もしくは興味のあるコースを選択してください。(複数回答可・必須)

入学希望者の興味のあるコース	回答者数
人類文化研究コース(国立民族学博物館)	4
国際日本研究コース(国際日本文化研究センター)	7
日本歴史研究コース(国立歴史民俗博物館)	5
日本文学研究コース(国文学研究資料館)	4
日本語言語科学コース(国立国語研究所)	13
総合地球環境学コース(総合地球環境学研究所)	7
分子科学コース(分子科学研究所)	5
天文科学コース(国立天文台)	4
核融合科学コース(核融合科学研究所)	2
宇宙科学コース(宇宙科学研究所)	9
加速器科学コース(加速器研究施設・共通基盤研究施設)	4
物質構造科学コース(物質構造科学研究所)	6
素粒子原子核コース(素粒子原子核研究所)	5
統計科学コース(統計数理研究所)	8
極域科学コース(国立極地研究所)	3
情報学コース(国立情報学研究所)	9
遺伝学コース(国立遺伝学研究所)	11
基礎生物学コース(基礎生物学研究所)	9
生理科学コース(生理学研究所)	7
統合進化科学コース(葉山キャンパス)	8
未定・不明	1
集計	131

なお、希望される方には、本学の新しい大学院構想について、メールでご案内いたしますか？

今後、そうしたご案内のメールを希望されますか？(必須)

連絡希望者の興味のあるコース	回答者数
人類文化研究コース(国立民族学博物館)	1
国際日本研究コース(国際日本文化研究センター)	4
日本歴史研究コース(国立歴史民俗博物館)	1
日本文学研究コース(国文学研究資料館)	0
日本語言語科学コース(国立国語研究所)	7
総合地球環境学コース(総合地球環境学研究所)	2
分子科学コース(分子科学研究所)	1
天文学コース(国立天文台)	1
核融合科学コース(核融合科学研究所)	0
宇宙科学コース(宇宙科学研究所)	2
加速器科学コース(加速器研究施設・共通基盤研究施設)	0
物質構造科学コース(物質構造科学研究所)	0
素粒子原子核コース(素粒子原子核研究所)	2
統計科学コース(統計数理研究所)	5
極域科学コース(国立極地研究所)	1
情報学コース(国立情報学研究所)	6
遺伝学コース(国立遺伝学研究所)	5
基礎生物学コース(基礎生物学研究所)	4
生理科学コース(生理学研究所)	2
統合進化科学コース(葉山キャンパス)	2
未定・不明	0
合計	46

【実施したWEBアンケート画面】

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

本アンケートで収集した情報は、先端学術院（仮称）の検討を進めるための統計資料として活用いたします。同意いただける場合、回答を開始してください。

* あなたの所属等を下記から1つ選択してください。（必須）

- 大学：学部1年（又は相当）
- 大学：学部2年（又は相当）
- 大学：学部3年（又は相当）
- 大学：学部4年（又は相当）
- 大学院：修士1年（又は相当）
- 大学院：修士2年（又は相当）
- 大学院：博士課程
- 企業・団体、研究所等に所属する研究者
- その他（具体的に）



次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

* 大学院に進学したいと考える理由を教えてください。（複数回答可・必須）

- 興味のある分野で研究を行いたいから
- 学部等で身につけた知識・技能をさらに深めたいから
- 就職の際に活躍の場が広がるから
- 大学等の研究機関や企業等で研究・開発に携わりたいから
- その他（具体的に）



前へ 次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

これ以降の質問では、2023年度に設置構想中の先端学術院（仮称）について、お伺いします。先端学術院（仮称）については、以下の動画をご覧ください。

<https://youtu.be/rMpbNPG136g>

* 2023年度に設置構想中の先端学術院（仮称）について、関心の度合いを教えてください。（必須）

- 非常に関心がある
- 関心がある
- ある程度関心がある
- あまり関心がない
- 関心がない



総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

* 前の質問で「非常に関心がある」「関心がある」「ある程度関心がある」と回答された方に伺います。本学の新しい大学院構想の中であなたが関心を持ったことは何ですか？（複数回答可・必須）

- 国立国語研究所、総合地球環境学研究所を含めた、大学共同利用機関等の優れた研究機能を活用した大学院教育
- 分野をまたいだ履修科目の履修が可能なフレキシブルな教育
- 異なる分野の教員が共同指導を行う、テラーメイドな学位プログラム
- 国際共同学位プログラムや海外インターンシップ事業等、国際的な研究者を育成するサポート体制
- 充実した学生の経済支援
- その他（具体的に）



総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

* 2023年度に設置構想中の先端学術院（仮称）に、入学したいと思いませんか？（必須）

- 入学したい
- 入学を検討したい
- 入学したいと思わない
- わからない



総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

・前の質問で「入学したい」「入学を検討したい」と回答された方に伺います。進学を希望するコース、もしくは興味のあるコースを選択してください。（複数回答可・必須）

- 人類文化研究コース（国立民族学博物館）
- 国際日本研究コース（国際日本文化研究センター）
- 日本歴史研究コース（国立歴史民俗博物館）
- 日本文学研究コース（国文学研究資料館）
- 日本語言語科学コース（国立国語研究所）
- 総合地球環境学コース（総合地球環境学研究所）
- 分子科学コース（分子科学研究所）
- 天文科学コース（国立天文台）
- 核融合科学コース（核融合科学研究所）
- 宇宙科学コース（宇宙科学研究所）
- 加速器科学コース（加速器研究施設・共通基盤研究施設）
- 物質構造科学コース（物質構造科学研究所）
- 素粒子原子核コース（素粒子原子核研究所）
- 統計科学コース（統計数理研究所）
- 極域科学コース（国立極地研究所）
- 情報学コース（国立情報学研究所）
- 遺伝学コース（国立遺伝学研究所）
- 基礎生物学コース（基礎生物学研究所）
- 生理科学コース（生理学研究所）
- 統合進化科学コース（栗山キャンパス）
- 未定・不明

73%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

アンケートは以上です。ありがとうございました。
そのほか、コメント等ございましたら、こちらに記載してください。

*なお、希望される方には、本学の新しい大学院構想について、メールでご案内いたします。今後、そうしたご案内のメールを希望されますか？（必須）

- はい
- いいえ



総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

*前の質問で「はい」と回答された方は、以下を記載してください。（必須）
なお、当該情報は、本学の個人情報保護規程に従い、本学のお知らせを連絡する目的に限り使用いたします。

お名前

メールアドレス



総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：学部や修士課程（相当）の方へ

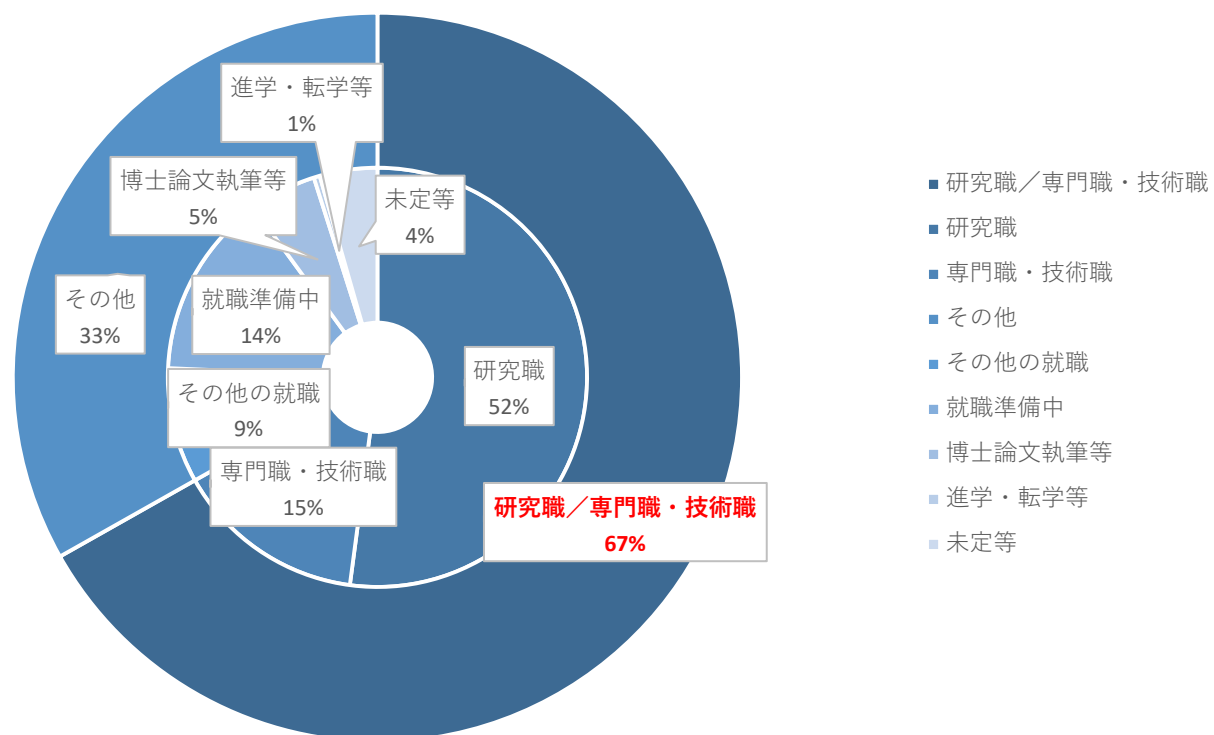
ご協力ありがとうございました。
「完了」をクリックいただくと、総研大や基盤機関の写真をダウンロードいただけるページへ移動します。パソコンの壁紙やオンラインミーティングの背景等でご活用ください。



修了生及び単位取得退学者の進路状況（平成28年度～令和2年度）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	平均
研究職	62名	46名	43名	29名	43名	223名	44.6名
専門職・技術職	15名	16名	11名	10名	11名	63名	12.6名
その他の就職	13名	10名	4名	6名	5名	38名	7.6名
就職準備中	13名	15名	13名	13名	7名	61名	12.2名
博士論文執筆等	4名	7名	0名	4名	7名	22名	4.4名
進学・転学等	1名	0名	0名	0名	1名	2名	0.4名
未定等	1名	2名	9名	3名	4名	19名	3.8名
未回答	7名	4名	5名	13名	23名	52名	10.4名
計	116名	100名	85名	78名	101名	480名	96名
研究職／専門職・ 技術職の割合（未 回答を除く）	71%	65%	68%	60%	69%	67%	67%

修了生及び単位取得退学者の進路状況（平成28年度～令和2年度平均）



修了生追跡調査結果（2001～2008修了生）

対象： 2001年から2008年に修了した者（713名）

※単位取得退学者は含めない。

※単位取得退学後、所定の年度内に論文博士として出願し、学位を取得したものは含める

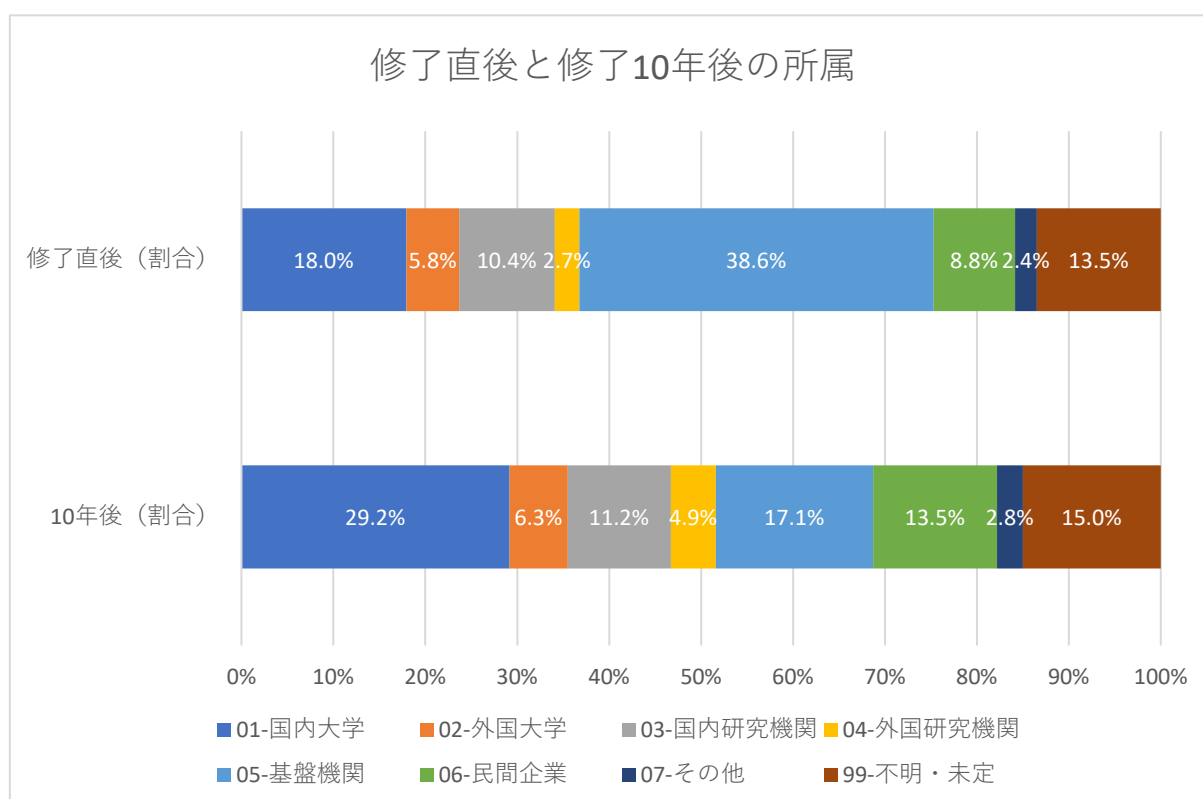
※主にresearchmap、KAKEN、ORCID等を活用したWEB検索により調査。

※年度ではなく年（1月～12月）で集計。

※集計に当たっては所属機関が複数年にわたり推測可能なもののみを対象。

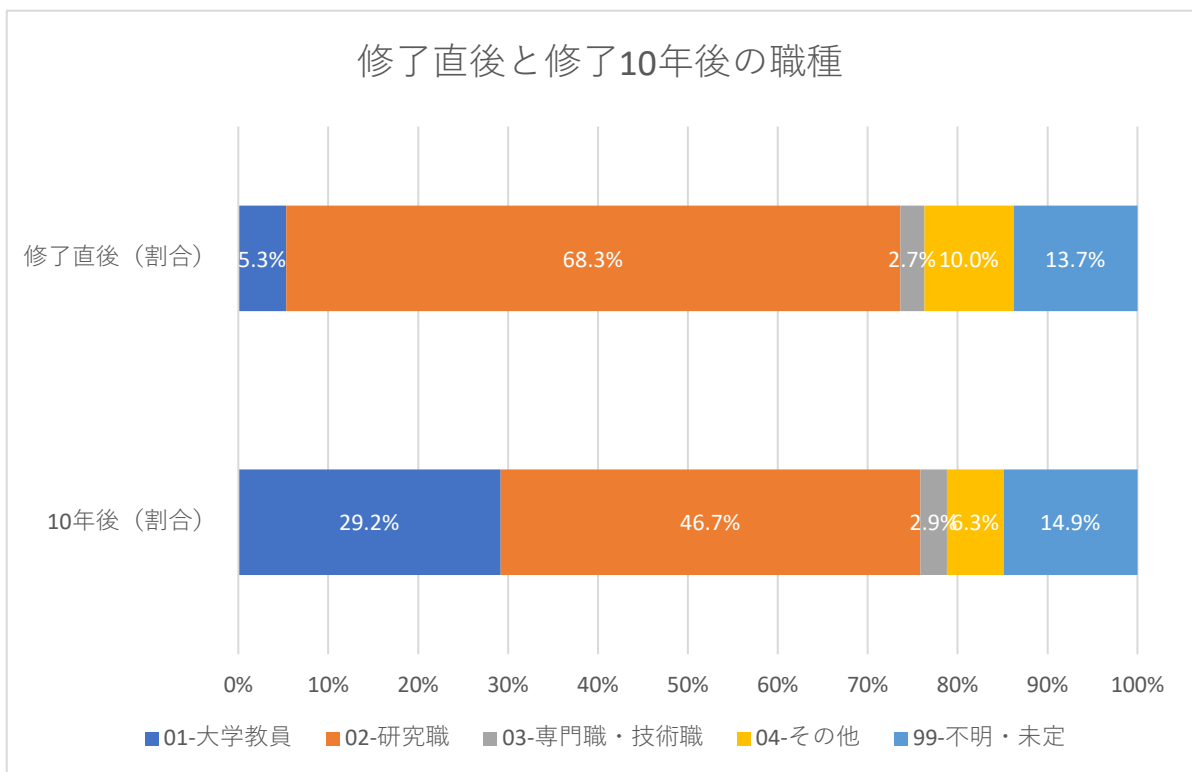
修了直後と修了10年後の所属

勤務先	10年後（数値）	10年後（割合）	修了直後（数値）	修了直後（割合）
01-国内大学	208	29.2%	128	18.0%
02-外国大学	45	6.3%	41	5.8%
03-国内研究機関	80	11.2%	74	10.4%
04-外国研究機関	35	4.9%	19	2.7%
05-基盤機関	122	17.1%	275	38.6%
06-民間企業	96	13.5%	63	8.8%
07-その他	20	2.8%	17	2.4%
99-不明・未定	107	15.0%	96	13.5%
集計	713		713	



修了直後と修了10年後の職種

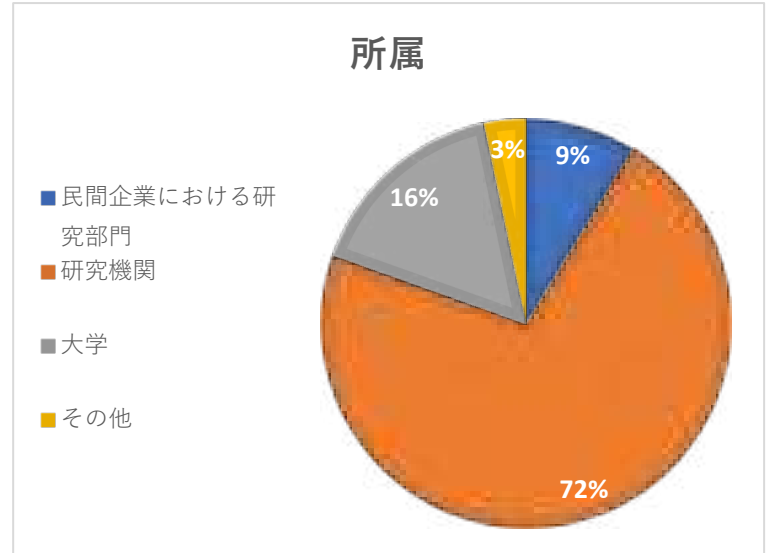
職種	10年後 (数値)	10年後 (割合)	修了直後 (数値)	修了直後 (割合)
01-大学教員	208	29.2%	38	5.3%
02-研究職	333	46.7%	487	68.3%
03-専門職・技術職	21	2.9%	19	2.7%
04-その他	45	6.3%	71	10.0%
99-不明・未定	106	14.9%	98	13.7%
集計	713		713	



先端学術院ウェブサイトアンケート結果(企業・研究者向け)(2022年3月31日時点)

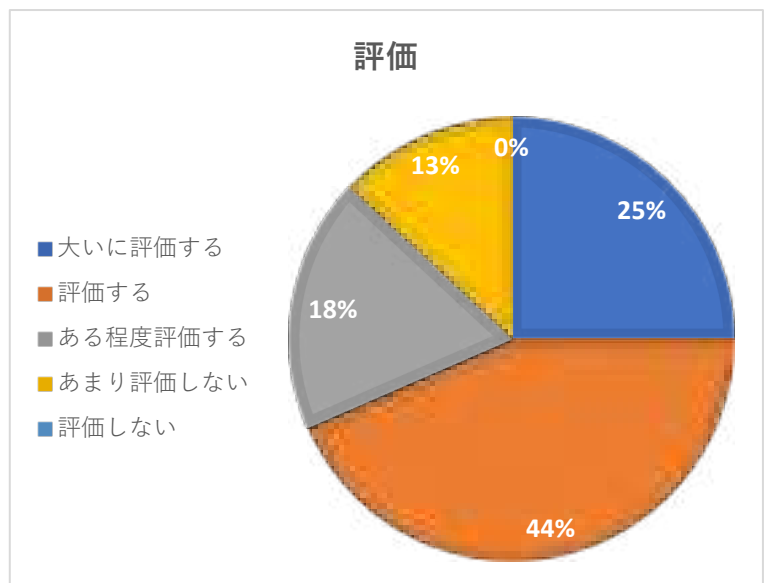
ご所属について、最も当てはまる項目を選んでください。(必須)

所属	回答者数
民間企業における研究部門	8
研究機関	66
大学	15
その他	3
集計	92



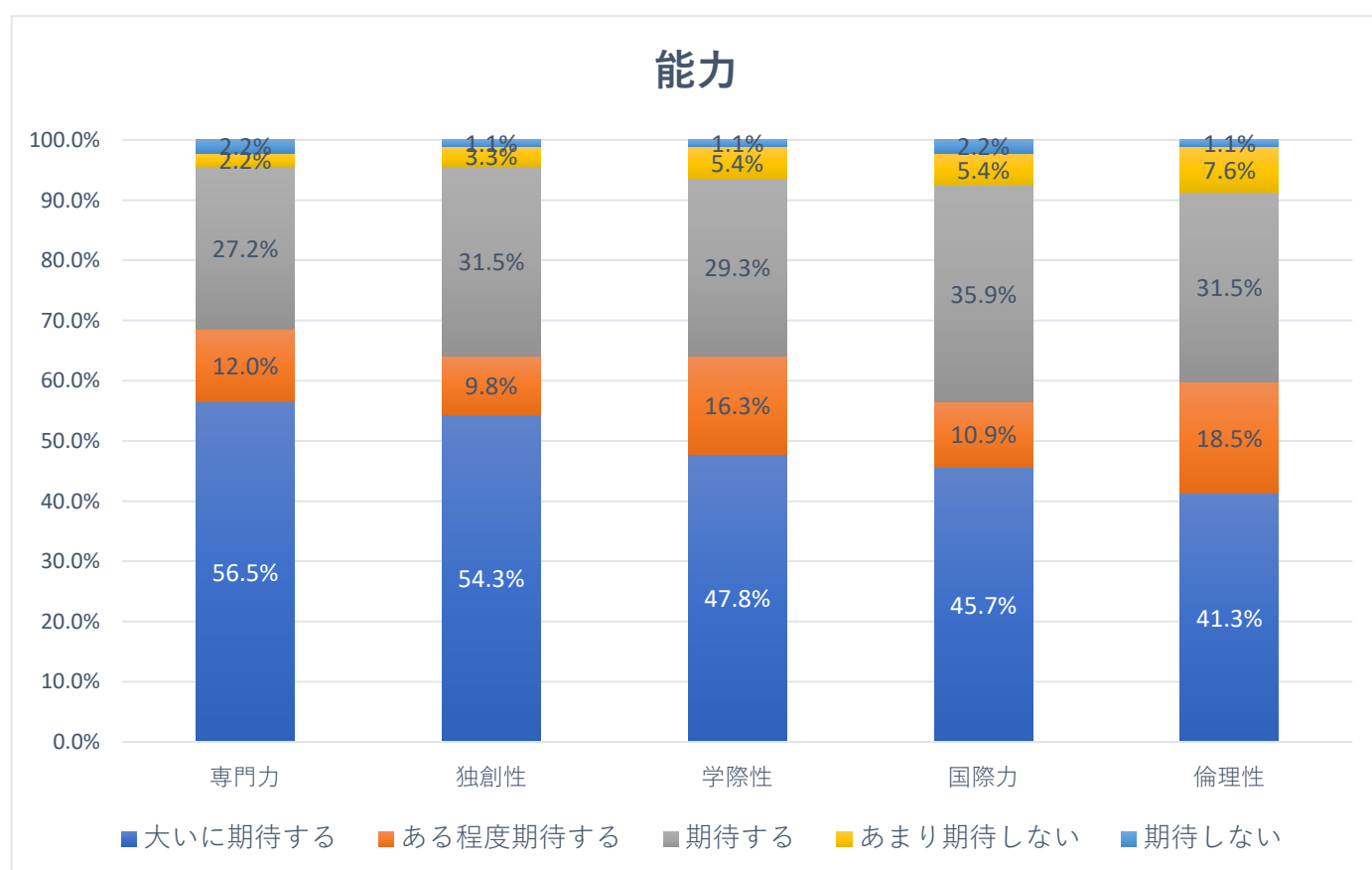
2023年度に設置構想中の先端学術院(仮称)について、どのように評価しますか？(必須)

評価	回答者数
大いに評価する	23
評価する	40
ある程度評価する	17
あまり評価しない	12
評価しない	0
集計	92



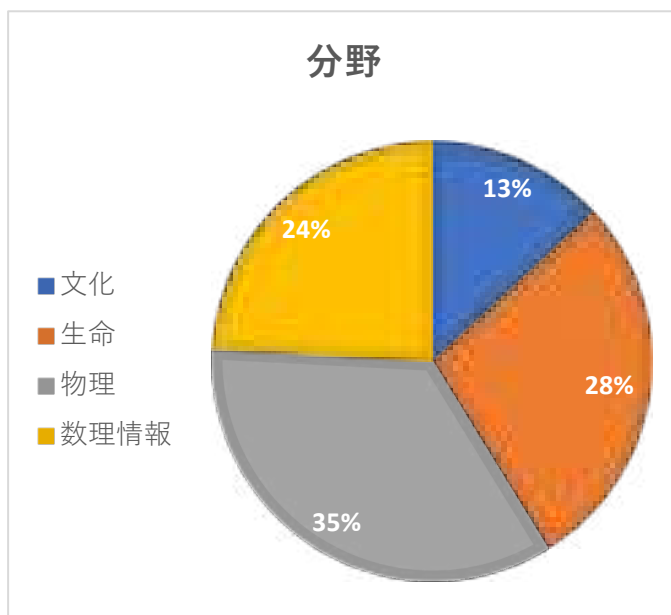
2023年度に設置構想中の、先端学術院(仮称)において養成する人材に対して、
 どのような知識・能力を期待しますか？期待の度合いを星の数で教えてください。(必須)

能力	専門力	独創性	学際性	国際力	倫理性
大いに期待する	52	50	44	42	38
ある程度期待する	11	9	15	10	17
期待する	25	29	27	33	29
あまり期待しない	2	3	5	5	7
期待しない	2	1	1	2	1
集計	92	92	92	92	92



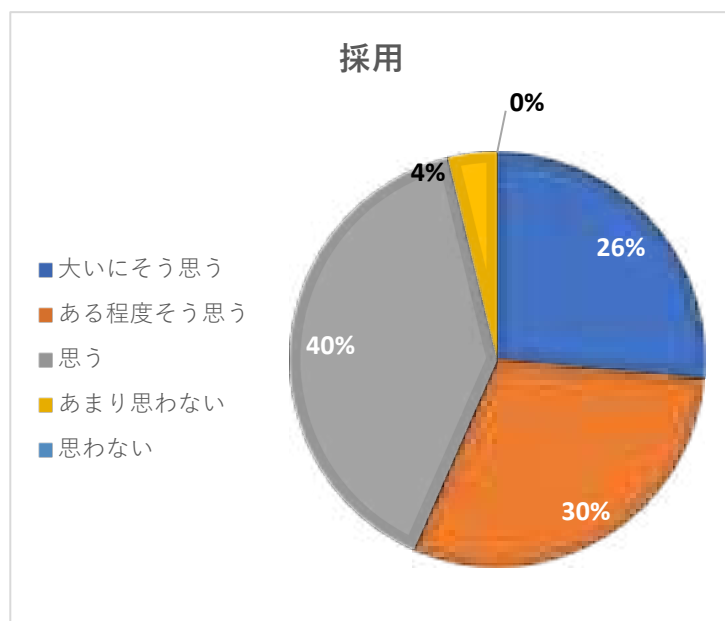
どの分野に興味がありますか？(必須)

分野	回答者数
文化	20
生命	43
物理	53
数理情報	37
集計	153



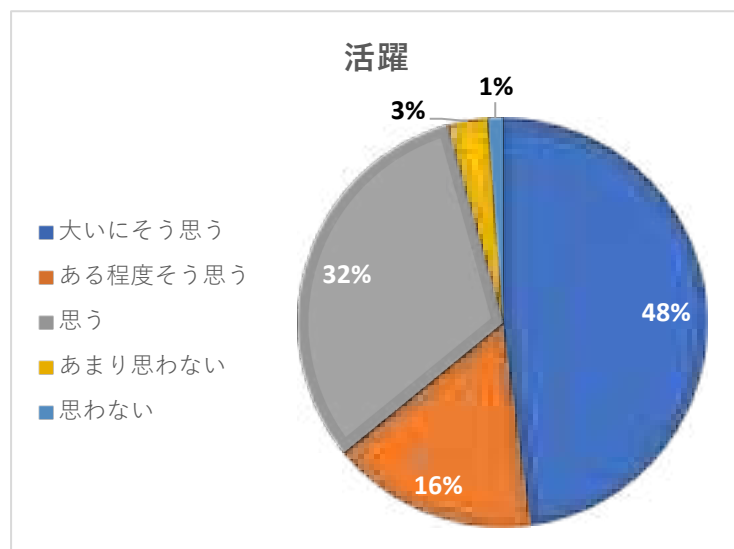
【採用担当者の方】本学の修了生を採用したいと思いますか？

採用	回答者数
大いにそう思う	14
ある程度そう思う	16
思う	21
あまり思わない	2
思わない	0
集計	53



本学の修了生は、あなたの業種で活躍できると思いますか？

活躍	回答者数
大いにそう思う	44
ある程度そう思う	15
思う	29
あまり思わない	3
思わない	1
集計	92



【実施したWEBアンケート画面】

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

本アンケートで収集した情報は、先端学術院（仮称）の検討を進めるための統計資料として活用いたします。同意いただける場合、回答を開始してください。

*ご所属について、最も当てはまる項目を選んでください。（必須）

- 大学
- 研究機関
- 民間企業における研究部門
- その他

1 / 10 10%

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

これ以降の質問では、2023年度に設置構想中の先端学術院（仮称）について、お伺いします。先端学術院（仮称）については、以下の動画をご覧ください。

<https://youtu.be/wMpbNPG136o>

* 2023年度に設置構想中の先端学術院（仮称）について、どのように評価しますか？（必須）

- 大いに評価する
- 評価する
- ある程度評価する
- あまり評価しない
- 評価しない

2 / 10 20%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

2023年度に設置構想中の、先端学術院（仮称）において養成する人材に対して、どのような知識・能力を期待しますか？期待の度合いを星の数で教えてください。（必須）

* 専門力

期待しない	あまり期待しない	ある程度期待する	期待する	大いに期待する
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 独創性

期待しない	あまり期待しない	ある程度期待する	期待する	大いに期待する
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 学際性

期待しない	あまり期待しない	ある程度期待する	期待する	大いに期待する
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 国際力

期待しない	あまり期待しない	ある程度期待する	期待する	大いに期待する
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 倫理性

期待しない	あまり期待しない	ある程度期待する	期待する	大いに期待する
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

4 / 10

40%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

* どの分野に興味がありますか？（必須）

- 文化
- 生命
- 物理
- 数理情報

5 / 10

50%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

【採用担当者の方】 本学の修了生を採用したいと思いますか？

- 大いにそう思う
- 思う
- ある程度そう思う
- あまり思わない
- 思わない

* 本学の修了生は、あなたの業種で活躍できると思いますか？（必須）

- 大いにそう思う
- 思う
- ある程度そう思う
- あまり思わない
- 思わない

6 / 10

60%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

以上で終了です。本調査や本学の構想についてコメント等ございましたら、以下に記載してください。

差し支えなければ、御社名を記載してください。

9 / 10

90%

前へ

次へ

総合研究大学院大学・先端学術院（仮称）について：企業・研究機関の方へ

ご協力ありがとうございました。

「完了」をクリックいただくと、総研大や基盤機関の写真をダウンロードいただけるページへ移動します。パソコンの壁紙やオンラインミーティングの背景等でご活用ください。

10 / 10

100%

前へ

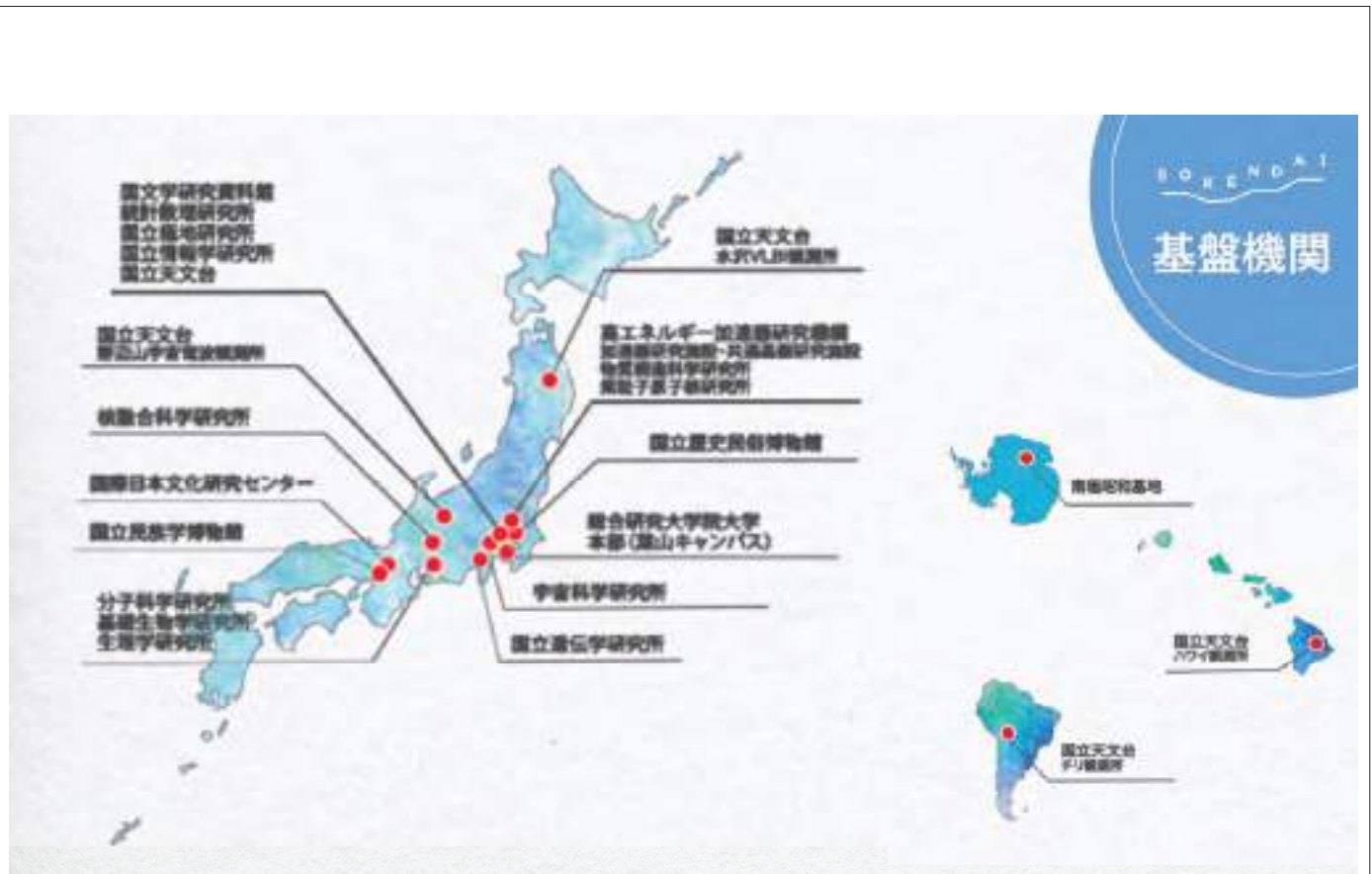
完了



SOKENDAIとは

大学共同利用機関等、
世界トップレベルの
研究環境で研究者を
育成する大学院大学

 国立民族学博物館	 国際日本文化研究センター	 国立歴史民俗博物館	 国文学研究資料館
 分子科学研究所	 国立天文台	 核融合科学研究所	 宇宙科学研究所
 高エネルギー加速器科学研究機構	 統計数理研究所	 国立情報学研究所	 国立極地研究所
 国立遺伝学研究所	 基礎生物学研究所	 生理学研究所	 先端科学研究科 (葉山キャンパス)



博士課程

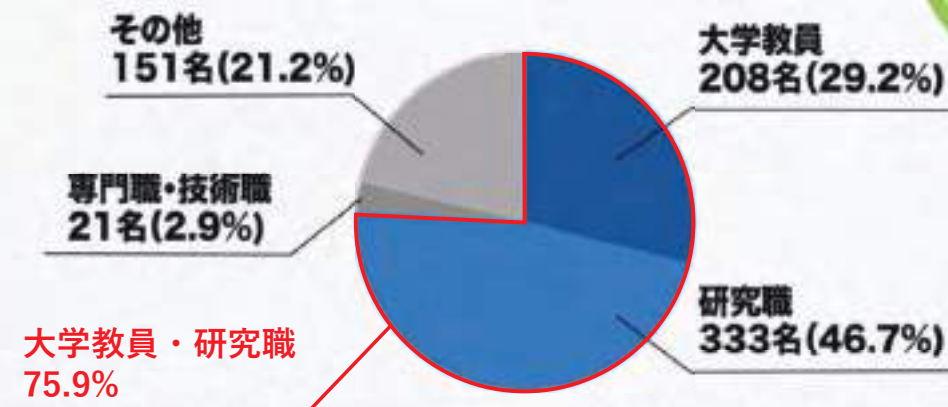
(5年一貫制博士課程・博士後期課程)

教育課程



修了生の進路 —— 修了10年後の職種

修了生の
進路



2001年～2008年の修了者713名の10年後の追跡調査結果
(FACTBOOK2020 総研大)



先端学術院 先端学術専攻 (仮称)

- 現在の6研究科20専攻の体制から、**1つの先端学術院・1つの先端学術専攻**のもとに20コースを設置する体制へ。
- 先端学術院を構成する基盤機関に、新たに**総合地球環境学研究所**と**国立国語研究所**が参画予定。



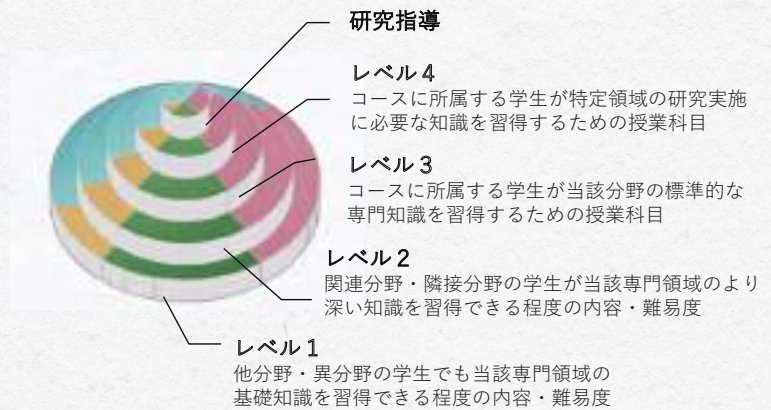


4つの領域 5つのレベル分け

20コース：4つの領域



授業科目：内容・専門性によるレベル分け



教育体制の特徴



- 分野を超えて自由に科目を選択できるフレキシブルな教育体制
- 複合的・融合的な研究課題に挑戦する学生の基礎力の涵養をサポート



- 複数の基盤機関で研究
- 分野をまたいだ横断的教育
- テーラーメイドな学位プログラム



充実した学生支援

経済的支援

- ・ リサーチアシスタント制度
- ・ 授業料免除制度
- ・ SOKENDAI特別研究員制度
他

論文作成支援

- ・ 学術誌等への投稿・掲載にかか
る費用をサポート

研究派遣支援

- ・ SOKENDAI研究派遣プログラム
- ・ 国際共同学位プログラム



5つの能力

専門力

自らが専門とする学術領域に蓄積された知見と方法論を修得し、それらを応用して高度な研究を推進することができる力。

独創性

研究を通して事象を深く理解し、自由な着想に基づいて未踏の課題に挑戦し、新たな知的価値を生み出すことができる力。

学際性

自らの専門性に立脚しつつ、学際的な視点から周辺領域の課題に取り組み、幅広い学術の進展に資することができる力。

国際力

国・地域・言語・文化・性別・宗教などに捉われない理解と協働に基づき、高い普遍性をもつ学術成果を発信することができる力。

倫理性

自らが行う学術研究の社会的な意義や位置づけを認識し、研究者としての倫理観と責任感をもって行動することができる力。